【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】　　基幹大槌 125

事業番号　C-1-4
事 業 名　農用地災害復旧関連区画整理事業（復興基盤総合整備事業）（大船渡・釜石地区）
大船渡・釜石地区

事 業 費　総額 1.63 億円　（国費 1.26 億円）
（内訳: 工事費 1.4 億円、測量試験費 0.15 億円、用地補償費 0.01 億円、換地費 0.07 億円）

事業期間　平成 27 年度　～　平成 29 年度

事業目的

本地区は、２級河川の川沿いに展開する水田地帯であるが、被災前は標準区画５～10a 程度と狭小で耕作道の幅員が狭く水路断面も狭小なため、営農に支障を来たしている状況であった。

このような中、平成 23 年３月 11 日の東日本大震災津波により甚大な被害を受け、一刻も早い復旧が望まれる一方で、もともと脆弱であった経営基盤の強化を図る必要があった。

これらを解決するため、本事業によって高生産性ほ場を造成し、営農と維持管理の省力化を図るとともに、営農組織への農地利用集積を推進し、農業経営の安定を図るもの。

事業地区

大槌町　大船渡・釜石地区（下野工区）　　※別紙の図面・写真を参照

事業結果〔整備概要〕

○　区画整理 A=5.6ha

事業の実績に関する評価

①　事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

［調査・分析］

○　災害復旧と一体的に、区画形質の改善（標準区画 20a）、用排水路と農道の整備、換地による農地集団化（１団地当たり面積：約 10a→20a）を併せ行うことによって、農業経営の基盤強化を図ることができた。

○　本地区の基幹作物は水稲であることから、稲作中心の大型機械化体系の確立及び農地集団化による省力化を図るとともに、ピーマン、キャベツの高収益品目を取り入れるなど複合経営化を進め、農業経営の安定化を図ることができた。

［評価］

上記のとおり、本事業によって、区画形質の改善や用排水路と農道の整備等を実施したことによって、農業経営の基盤強化を図られたことから、本事業は目的に即した効果を発揮していると判断する。

②　コストに関する調査・分析・評価

［調査・分析］

○　事業費積算については、土地改良工事積算基準の算定根拠を用いていること、また、岩手県会計規則等に基づき契約事務を行った。

○　他の復興関連工事で発生した残土を盛土材として活用するなど、コスト縮減に努めながら事業を進めた。

［評価］

上記のとおり、会計規則等に基づく契約手続きを経て実施された事業であり、他の復興関連工事で発生した残土を盛土材として活用するなど、コスト縮減に努めていることから、本事業に要したコストは妥当と判断する。

③　事業手法に関する調査・分析・評価

［調査・分析］

	想定事業期間	実際の事業期間
測量・設計・調査	平成27年度～平成29年度	平成27年度～平成29年度
工　　事	平成27年度～平成29年度	平成27年度～平成29年度
換　　地	平成27年度～平成28年度	平成27年度～平成28年度

○　事業実施に当たり、関係機関等との調整を適切に行い、円滑な事業執行に努め、早期に営農再開することができた。

［評価］

上記のとおり、関係機関等と調整を図りながら、円滑な事業の実施に努め、早期の営農再開につながっていることから、本事業の手法は妥当であったと判断する。

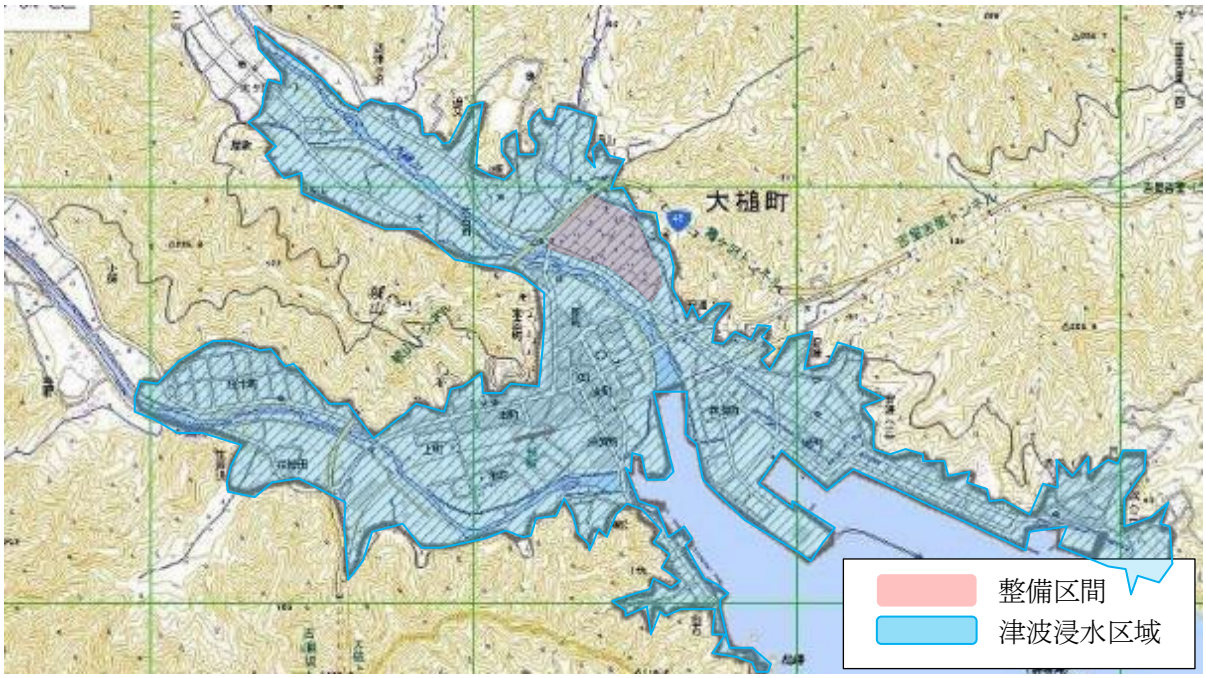
事業担当部局

岩手県 農林水産部 農村建設課　　電話番号：019-629-5682

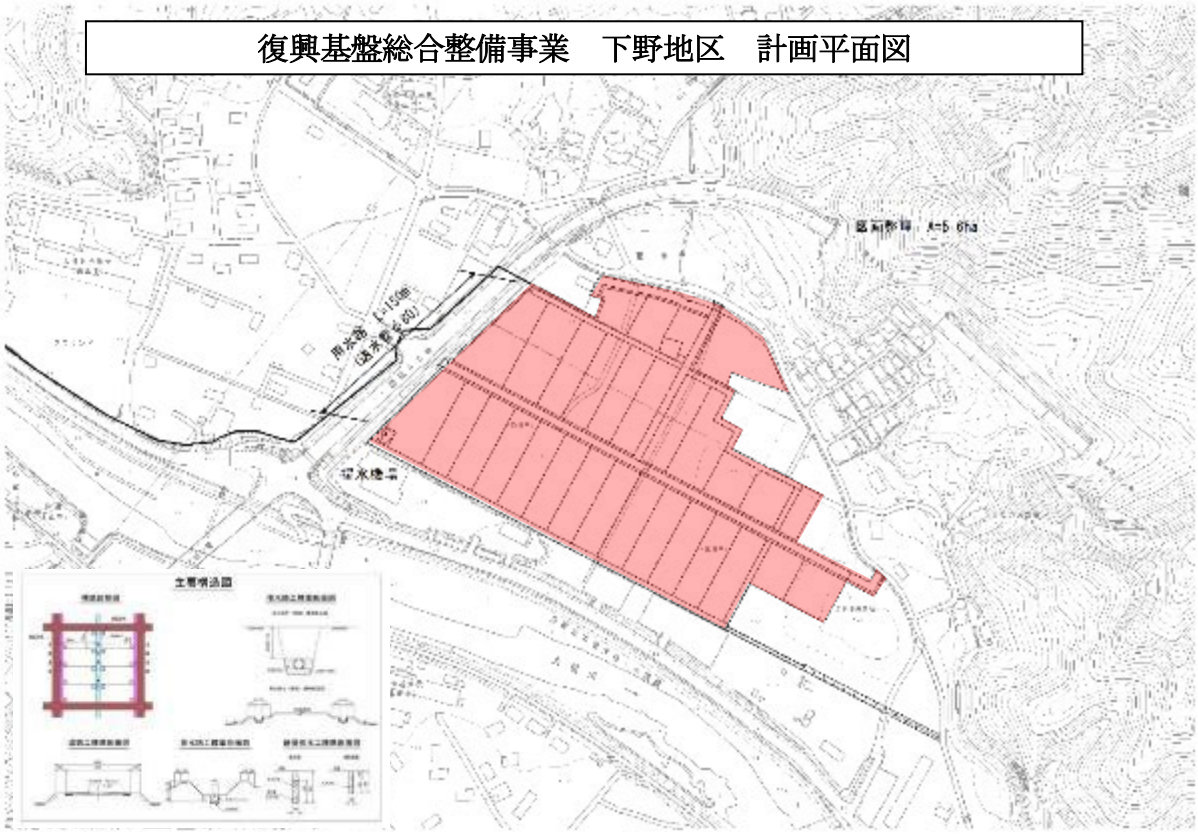
別　紙

Ｃ－１－４　農用地災害復旧関連区画整理事業（復興基盤総合整備事業）（大船渡・釜石地区）大船渡・釜石地区

【整備区間と津波浸水区域】



※津波浸水区域図は、国土地理院の 2.5 万分 1 浸水範囲概況図(岩手県版)を引用



【整備前の被災状況】

【整備後の状況】

下野地区　営農状況　ピーマン

下野地区　営農状況　キャベツ